

◆加藤勝信厚生労働大臣、保育所・認定こども園等の新型コロナウイルス感染症への対応について閣議後会見で発言

令和2年3月13日、加藤勝信厚生労働大臣は閣議後の記者会見で、保育所・認定こども園等の関係者の新型コロナウイルス感染症対策について、下記のように発言しています。

先の保育三団体協議会（本会・全国私立保育園連盟・日本保育協会）と厚生労働省子ども家庭局保育課との意見交換における、保育士等職員の状況や現場の実情などの意見を踏まえ、開所を続けている保育所等への感謝にも触れられています。

加藤大臣 閣議後会見（令和2年3月13日）での発言

今般の小学校の臨時休業に当たり、保育所については、家に1人であることができない小さなお子さんが利用していることから、原則として引き続き開所をお願いしているところです。開所のためにいろいろ御尽力いただいている保育園はじめ関係者の方々に、改めて感謝を申し上げます。

厚生労働省としても、保育所における感染拡大を防止するため、マスクや消毒薬等の購入にかかる費用を助成するなどの支援を行っております。

一方、現場の現状について、保育団体等から、小学校等の休校のため保育士の方等が休まざるを得ず、人員が不足している保育所があるという話を聞いております。

このような場合に、市町村の要請に基づき、小学校等の一斉休校に伴ってご自宅におられる保護者の方などについて、保育所から園児の登園を自粛するようお願いしている事例があると承知しています。

保護者の皆さまにおかれては、市町村や保育所からこのようなお願いがあった場合で可能な時には、保育所が適切な保育の提供を継続するために、ご協力をいただきますよう、お願いいたします。

また、その際の保育料ですが、弾力的に軽減することについては、内閣府において対応いただいていると承知しています。

本文等の内容の詳細は下記ホームページの「29」をご確認ください。

■厚生労働省トップページ > 政策について > 分野別の政策一覧 > 子ども・子育て > 子ども・子育て支援 > 保育関係 > 保育所等における新型コロナウイルス対応関連情報

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_09762.html